

記事A

イヌワシのふ化に成功

大森山動物園 自然交配、全国3園目

△秋田魁新報2003年4月16日付より。記事は手直ししています▽

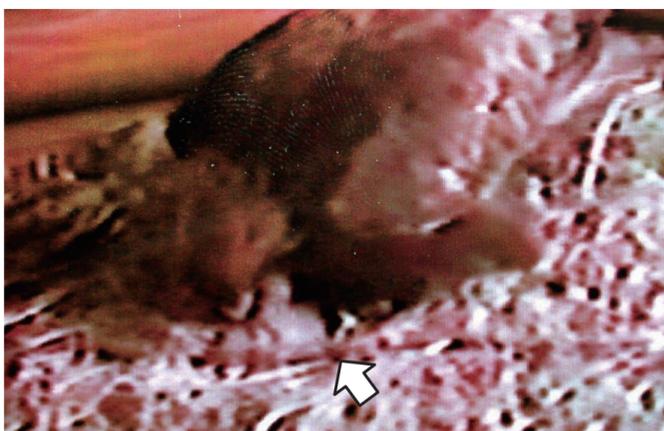
環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されている国の天然記念物ニホンイヌワシの繁殖に取り組んでいる秋田市の大森山動物園で、自然交配によるふ化に成功した。15日、同動物園が発表した。自然繁殖は、札幌・円山動物園、東京・多摩動物公園に次いで全国で3園目。

自然ふ化が確認されたのは、14日午後2時半ごろ。昭和63年に田沢湖町で保護された雌の「たつこ」（15歳）が、先月1日から2日にかけて産んだ卵。「たつこ」は先月5日から6日にかけて第2卵を産卵しており、こちらも数日中にもふ化する可能性が高い。

「たつこ」はことし2月17日、平成12年に多摩動物公園から繁

名前 年 組

殖のため貸与された雄の「信濃」（5歳）との交尾が確認されている。「初の交尾確認」（大森山動物園）だったことから有精卵の可能性が高く、同園初のふ化が期待されていた。



ふ化したヒナは体長約8センチ、体重約80㌦（いずれも推定）で、

自然ふ化したニホンイヌワシのヒナ（矢印）と親鳥のたつこ。2003年4月14日午後（大森山動物園提供）

性別は未確認。「たつこ」が第2卵とともにイヌワシ舎の巣の中で抱いている。「たつこ」はラットを細かくかみ切り餌付けしているが、ヒナはまだ食べていないという。ただ、「ピーピー」という鳴き声を頻繁にあげており、状態は良好とみられる。

小松守園長は「今回の成功は、個体数を確保する上でも意義がある。繁殖技術を確認するためにも、人工授精も検討していきたい」としている。また飼育担当の佐々木祐紀さん（30）は「親鳥にとっても自分にとっても初めてのヒナ。立派に成長するよう慎重に見守りたい」と話している。

同園は昭和45年に象潟町で保護した雄の「鳥海」（33歳）と雌の「白滝」による人工授精を63年実施。「白滝」死亡に伴い、元年からはペアの雌を「たつこ」に変えて人工授精を行った。毎年のように産卵が確認されたが、いずれもふ化しなかった。自然交配は、「信濃」と「たつこ」の間で、13年から取り組んでいる。

同園では現在、「たつこ」と「信濃」のほか、いずれも雄の「鳥海」（33歳）と「青葉」（14

歳）の計4羽を飼育している。全国では、同園を除く4園で計20羽を飼育している。人工授精

希少種の保存に意義

大森山動物園が、多摩動物公園から移入した雄との間で成功したイヌワシの自然ふ化は、希少種繁殖などを目的に、全国の動物園間で行っているブリーディングローン（BL＝繁殖のための貸し借り）を推進する上で大きな意義がある。

では、仙台市の八木山動物公園と札幌市の円山動物園で計4羽が成功している。

ることを受け、多摩動物公園などが中心となり平成8年から実施。大森山動物園は、八木山動物公園と多摩動物公園から「青葉」と「信濃」（ともに雄）を借り入れ、代わりに田沢湖町で保護、飼育していた「小町」（雌）を多摩動物公園に貸し出している。BLによる自然ふ化第1号は多摩動物公園で「たつこ」の「妹

とされる「小町」が産んだ卵。「小町」はその後、5羽の自然ふ化に成功している。多摩動物公園では「繁殖の輪を広げるには近親交配を極力避けたい。大森山動物園で、新たな血統が生まれたことは大きな意味がある」と歓迎する。

1

【記事A】を読み、次の(1)(2)の問いに答えましょう。

(1) 次のア～エの意味にふさわしい記事中の語句を2字で書きましょう。

- ア ほかの動物を捕食する鳥類。
- イ 卵がかえること。卵をかえすこと。
- ウ ごくまれで珍しいさま。
- エ 親や祖先から引き継がれる系統。

ア	イ	ウ	エ

(2) 次のア～エと、対に近い意味の熟語を、本文中から抜き出しましょう。(アは4字、イ～エは2字)

ア 自然交配	ア
イ 絶滅	
ウ 危惧	
エ 貸与	

